

特集

こども いのち みらい まもり はぐくむ建築



建築家をめざす
若い人に伝えたいこと ⑥

渡辺 武信

建築家になるという
強い覚悟を持ち、
広い教養を
身につけてほしい

シリーズ

「建築雑誌がめざす役割」②

『建築文化』元編集長・

田尻裕彦に聞く



「開発」に対峙し、
人間存在を軸に
時代と格闘する
編集のダイナミズム



ステキな幼稚園・保育園には
何がある？
征矢里沙
現場からの声
鈴木真廣 井口佳子

こどものいのちをまもること
福島原発事故から3年半。
いわき市の幼稚園では、今
前山成子

いのちを育む・いのちをつなぐ
災害から子どもたちをまもりぬいた保育園
天野珠路

モダンムーブメントを
豊かな建築に
下村憲一

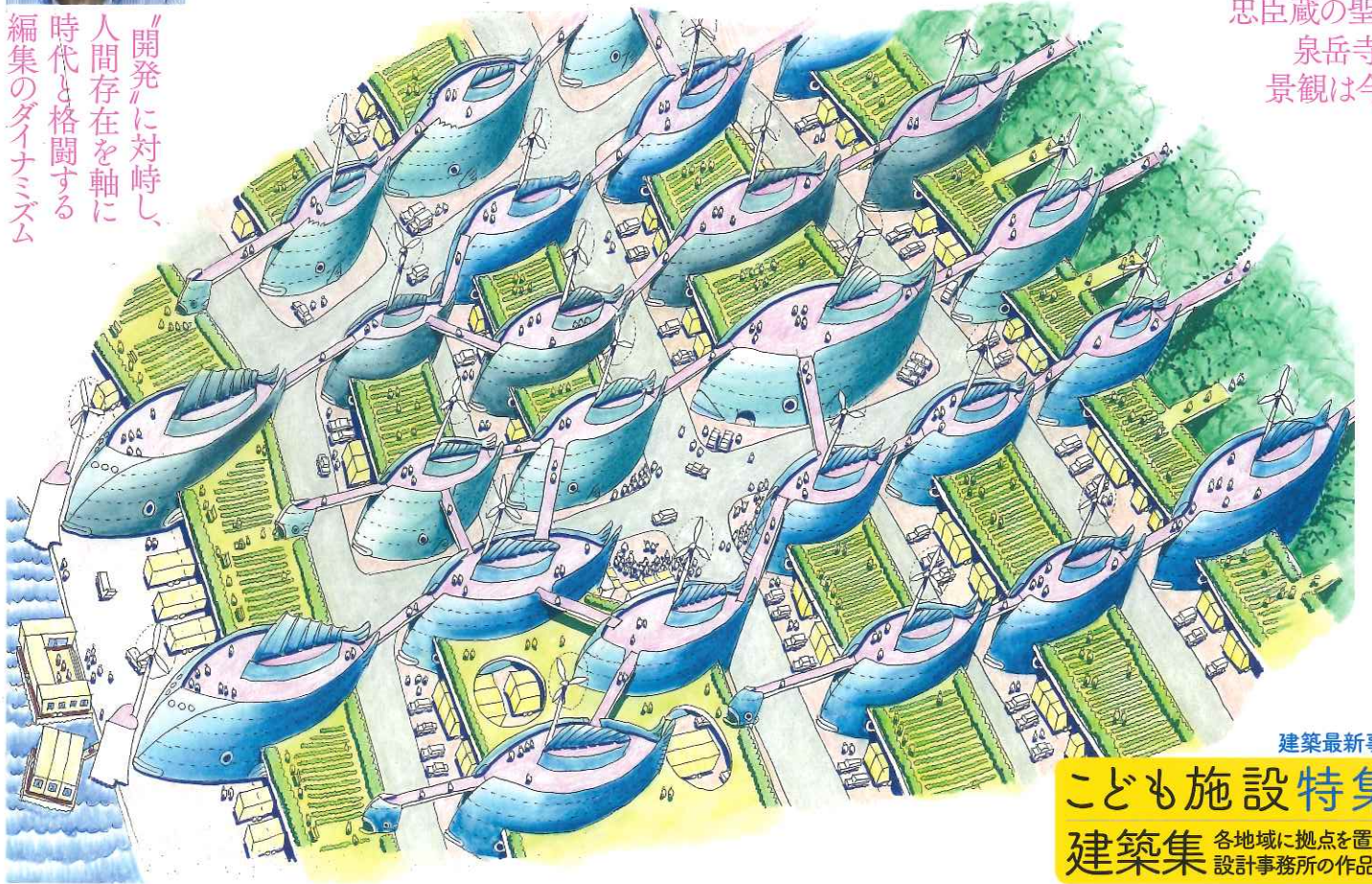


兼松絃一郎が巡る
建築家模様 ②4

地域の話題



忠臣蔵の聖地、
泉岳寺の
景観は今…



建築最新事情

子ども施設特集
建築集 各地域に拠点を置く
設計事務所の作品集



ホールに続くテラス、野舞台にもなる

夢をかなえる現代木造技術

学校法人東京内野学園 東京ゆりかご幼稚園 | 設計監理：渡辺治建築都市設計事務所

内野園長先生は、かねてから自然と親しみ、畑や田んぼを皆でつくる里山教育に力を入れており、理想的な教育環境としてこの敷地を求めた。背後には40ヘクタールの森があり、15m下には新興住宅地が広がっている。強風が吹き付ける北側に対しては、防風壁として壁を立ち上げ、森の方向には開いて、雨をよけるために2間跳ね出した庇を設けた建物配置は、ホール棟と保育棟が園庭に開くようにハの字で配置され、中央は消防車が通過できるよう、高い庇を設けた。

3つの庇は、交点で人を迎え入れる入り口の空間をつくる。

構造は木造在来工法であるが、10mのスパンを飛ばすために、H型の断面の特殊なLVL梁を用いた。この梁は剛性が高く、さらに延ばして13.5mの梁とすることで、先端の2間の庇は跳ね出して、受けの梁や柱が不要だった。

本来ならば、限られた予算内では約100mの長さの保育棟しか建てるのができなかったが、「性能単価」が安価な技術を考えることによって、ホールや子育て支援室、一時あずかり室・厨房がある棟をつくることができた。どうしたら建築の技術は「公共の福祉」に役立てることができるのだろうか。そのようなことを思っ技術を学び発展させてきたが、この建物ではそれが実現した気がした。

(渡辺治)

所在地	東京都八王子市七園3丁目50-2	電気	萩原電気
建築主	学校法人 東京内野学園	空調	萩原電気
用途	幼稚園	衛生	大黒設備工業
定員	240人のところ166人に限定している	構造・規模	W造一部S造 平屋
設計担当	渡辺治 加茂下真人 本田京	敷地面積	21,301.01㎡
	山崎智貴 沖水理恵	延床面積	1,801.05㎡
構造担当	リズムデザイン=モヴ 中田琢史	竣工	2014年1月
	斉藤美幸	撮影	永石写真事務所 (永石秀彦)
施工	建築：砂川・ロード建設JV		



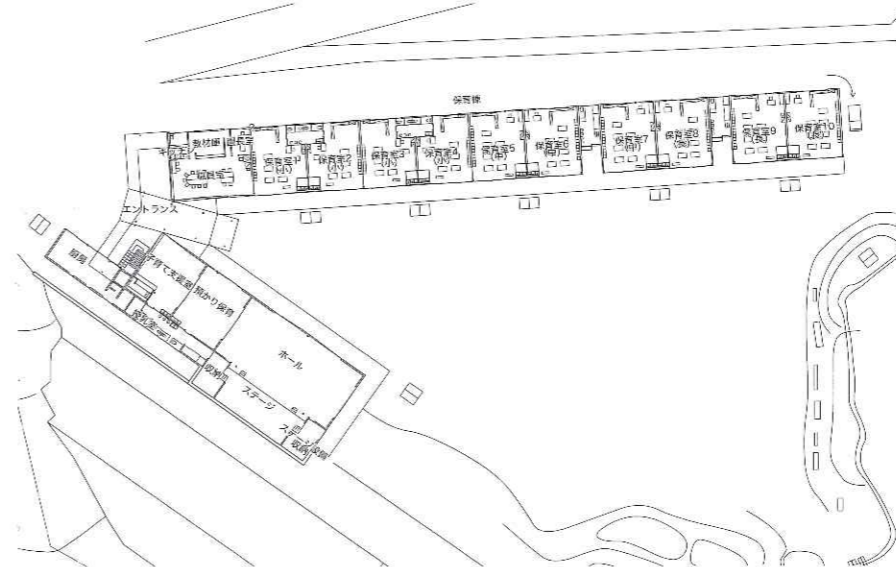
上 | 木造在来工法による大空間 下左 | 特殊LVLにより、3.6mはね出した庇 下右 | 親子で楽しめる図書・カフェスペース



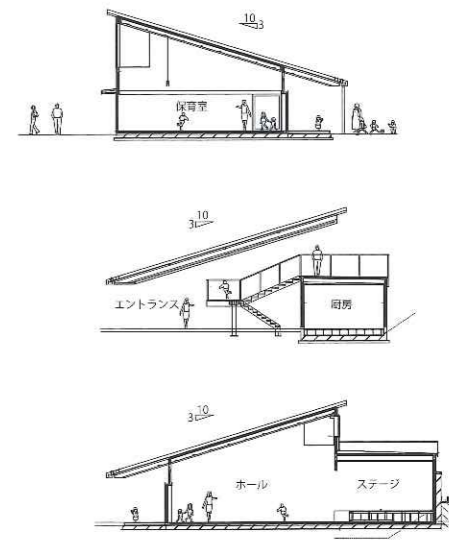
3枚の庇がつくる入口空間



独立柱で支えられる庇



配置平面図



立面図